

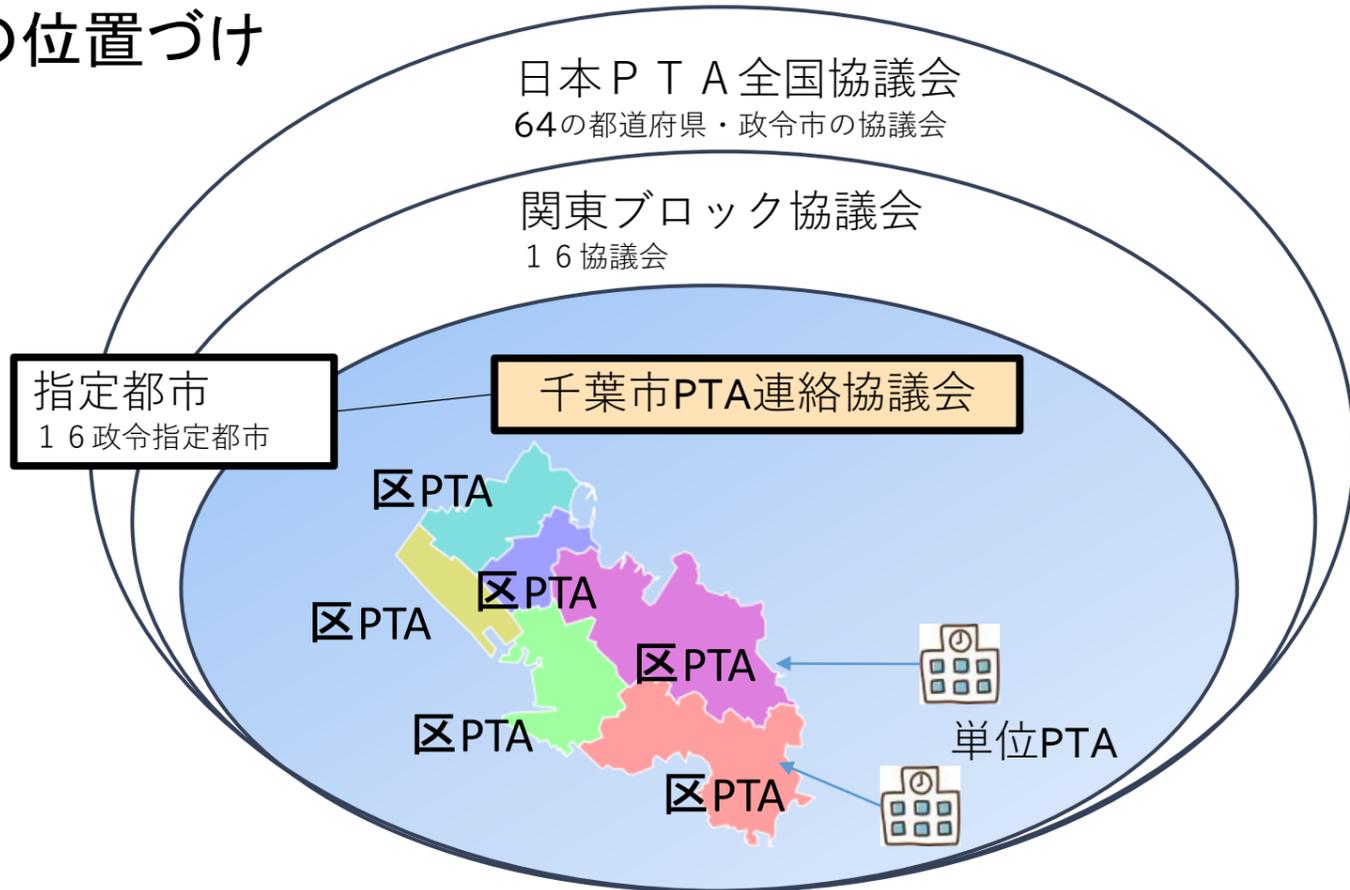
市P・区P丸ごと理解 会員の皆様の疑問にお答えします



区P・市Pって私たちから遠い存在・・・
よくわからないけど聞けないし・・・

- 単P = 単位PTA 各学校のPTAの略
- 区P = 区ごとのPTA連合協議会の略※美浜は連絡会
- 市P = 千葉市PTA連絡協議会の略
- 日P = (公社)日本PTA全国協議会の略

市P連の位置づけ



区Pって何しているの？

6つの区は加入校数も違い、それぞれ特色があります。どの区Pも単Pが協力し合って連携を深めています。単Pの活動がよりよいものになるよう情報交換したり、バレーボール大会で親睦を深めたりしています。また、講師を招き研修会を実施している区もあります。市P連からは研修補助として1万円を。バレーボール実施区Pには2～6万円を補助しています。安全互助会からも各区に2～11万円を助成し活動を応援しています。令和2年度は区Pへの補助金額を増額しました。

市Pの役員ってどんな人になるの？

役員会は会長と各区Pから選出された副会長6名、書記2名、会計1名、監事1名（任期は区により1年か2年）これに、校長会から副会長2名、監事1名が加わります。教育委員会からと常置委員会と特別委員会の代表と事務局がオブザーバー参加します。年12回程度開催。市P連は区Pの活動をさらに発展させているので各区から選出された代表が役員となって運営しています。

市P理事会って何しているの？

理事会は年5回開催しています。定期総会に次ぐ大事な会議です。各区から区P会長を含む3名が理事として集まり、市P役員と話し合い、情報交換をしています。市P連と区P連をつないでいるのです。その内容を理事は区に持ち帰り、フィードバックしていきます。各区共通の課題やその対応などについて貴重な情報交換の場となっています。過去には2つの区で合同研修会の話が出るなど自然と区と区の協力体制も生まれました。

市Pの役員になったら出ることが多くて大変なの？

月1回の役員会や年5回の理事会に参加しますが、調整できないときは欠席もOKです。そのほか会長と副会長を中心に教育関係団体の会議に委員として参加しています。初めはドキドキ緊張しますが「個人」ではなく、「立場」で参加しているので大丈夫です。普通では参加できない市の重要な会議に出てどんどん経験を重ねていくうちに視野広がり、自分も成長していったという声も聞かれます。もちろん無理なく役割を分担していくのでご心配なく。